

「三笠中学校の山田楽伝承活動の取組」

1. 学校名	阿久根市立三笠中学校
2. 学年・人数	1年生 37人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年5月19日 山田楽練習 三笠中学校1年1組教室 令和6年5月16日 山田楽練習 三笠中学校体育館 令和6年5月23日 山田楽練習 三笠中学校体育館 令和6年6月26日 「かさ・せこ」作り 三笠中学校1年1組教室 令和6年9月12日 リハーサル 三笠中学校校庭 (2) 発表の日時・場所 令和6年9月15日 三笠中学校第78回体育大会オープニング 三笠中学校校庭
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能、伝統 行事、伝統工芸 品について	(1) 名称 山田楽（やまだがく） (2) 由来 関ヶ原の合戦に由来し、出水郷の地頭であった山田昌巖が、出征と凱旋を盛り込んだ踊りとして鉦と太鼓による舞を考案したのが始まりだと伝えられている。 (3) 鉦、大太鼓、小太鼓、妙八（めはち）で構成されており、かけ声をかけて山跳びを行ないながら踊る。
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	創始者の山田昌巖が本校校区の古里集落出身であることを由来とし、古里地区を中心に伝統継承している。本校では、平成9年6月16日から生徒による伝承活動に取り組み今年で20年目になる。1年生が毎年山田楽保存会（山田勝氏）から学び、体育大会で披露している。 小太鼓のつける「かさ」「せこ」については、保存会の指導のもと生徒と保護者が一緒に作成している。
6. 取組の様子 （練習状況、発 表の場等）	 「かさ」「せこ」づくり  体育祭での披露
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	【職員】 - 山田楽保存会の御尽力により、地域に根付いた活動となっている。 【保護者】 - 体育祭（オープニング）での披露であったが、練習の成果を発表する姿を見て伝統を引き継ぐ大切さを実感した。 【生徒】 - 動きが難しく不安だったがみんなで一緒に踊り充実感があつた。